

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年1月27日

上場会社名 日本デコラックス株式会社
コード番号 7950 URL <https://www.decoluxe.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 重夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 近藤 直也
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
TEL 0587-93-2411

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	4,677	0.6	551	9.7	642	15.3	431	12.0
2025年3月期第3四半期	4,647	2.1	502	18.7	557	13.1	385	13.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	553.61	
2025年3月期第3四半期	486.52	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	18,577	16,183	87.1
2025年3月期	17,971	15,749	87.6

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 16,183百万円 2025年3月期 15,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		150.00		220.00	370.00
2026年3月期		150.00			
2026年3月期(予想)				220.00	370.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年 3月期の業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,300	1.4	560	0.8	660	5.4	460	4.7	590.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	893,000 株	2025年3月期	893,000 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	113,372 株	2025年3月期	113,372 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	779,628 株	2025年3月期3Q	792,428 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、原材料価格の高止まりに伴う物価上昇、米国の通商政策及び金融資本市場の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社のセグメント別の業績は、以下の通りとなりました。

<建築材料事業>

高圧メラミン化粧板は、オフィス市場とトイレ市場の需要が回復基調となったこと、インバウンド増加により店舗市場向けの需要が堅調に推移したこと及び原材料等の価格高騰の一部を販売価格に転嫁したことにより、売上が増加しました。

不燃メラミン化粧板は、原材料等の価格高騰の一部を販売価格に転嫁したものの、資材価格の高騰による新築住宅の着工件数及び住宅のキッチンリフォーム工事件数が減少したことにより、売上が減少しました。

その結果、化粧板製品の売上高は3,136百万円（前年同四半期比99.0%）となりました。

電子部品業界向け製品は、パソコン向けの需要が回復基調となったこと、自動車の部品調達の遅れが解消されたことにより車載関連の需要が一部回復したこと及びA I 産業向け、通信機器関連の需要が増加したことにより、売上が増加しました。

その結果、電子部品業界向け製品の売上高は656百万円（前年同四半期比113.2%）となりました。

ケミカルアンカー製品は、原材料等の価格高騰の一部を販売価格に転嫁したものの、建設コストの上昇による物件数の減少等により、売上が減少しました。

その結果、ケミカルアンカー製品の売上高は547百万円（前年同四半期比97.5%）となりました。

これらの結果、その他の売上高も合わせて、建築材料事業セグメントの売上高は4,377百万円（前年同四半期比100.7%）となりました。

<不動産事業>

不動産事業は、堅調に推移したものの、一部テナントの退去があり、売上は減少しました。

その結果、不動産事業セグメントの売上高は299百万円（前年同四半期比99.2%）となりました。

全社の業績といたしましては、売上高は4,677百万円（前年同四半期比100.6%）、営業利益は551百万円（前年同四半期比109.7%）、経常利益は642百万円（前年同四半期比115.3%）、四半期純利益は431百万円（前年同四半期比112.0%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて605百万円増加し18,577百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したものの、電子記録債権、その他の有形固定資産及び投資有価証券が増加したこと等によるものです。負債は前事業年度末に比べて171百万円増加し2,394百万円となりました。これは主に、電子記録債務が増加したものの、その他の流動負債及びその他の固定負債が増加したこと等によるものです。また、純資産は前事業年度末に比べて433百万円増加し16,183百万円となりました。これは主に、配当金を288百万円支払ったものの、その他有価証券評価差額金が290百万円増加したこと及び四半期純利益を431百万円計上したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日の「2025年3月期 決算短信（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,294,603	3,155,365
受取手形及び売掛金	909,175	874,226
電子記録債権	1,003,214	1,148,041
有価証券	224,157	198,670
商品及び製品	324,489	357,103
仕掛品	89,618	80,808
原材料及び貯蔵品	548,250	492,031
その他	84,680	163,312
流動資産合計	6,478,189	6,469,559
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,255,760	2,247,460
土地	5,099,587	5,099,587
その他（純額）	412,123	543,211
有形固定資産合計	7,767,471	7,890,259
無形固定資産	36,924	27,463
投資その他の資産		
投資有価証券	3,362,211	3,870,248
その他	326,923	320,104
投資その他の資産合計	3,689,134	4,190,352
固定資産合計	11,493,530	12,108,075
資産合計	17,971,719	18,577,634
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	345,372	313,609
電子記録債務	698,874	635,099
未払法人税等	93,271	106,068
引当金	60,563	31,275
その他	256,462	403,634
流動負債合計	1,454,544	1,489,686
固定負債		
役員退職慰労引当金	399,244	409,916
その他	368,621	494,758
固定負債合計	767,866	904,675
負債合計	2,222,410	2,394,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,515,383	2,515,383
資本剰余金	2,305,533	2,305,533
利益剰余金	11,115,438	11,258,585
自己株式	△582,819	△582,819
株主資本合計	15,353,535	15,496,681
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	395,773	686,590
評価・換算差額等合計	395,773	686,590
純資産合計	15,749,308	16,183,272
負債純資産合計	17,971,719	18,577,634

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
売上高	4,647,770	4,677,021
売上原価	3,170,789	3,154,924
売上総利益	1,476,980	1,522,097
販売費及び一般管理費	974,057	970,346
営業利益	502,923	551,751
営業外収益		
受取利息	34,100	37,429
受取配当金	27,655	54,400
その他	4,258	6,670
営業外収益合計	66,014	98,500
営業外費用		
支払利息	15	28
為替差損	11,458	7,661
営業外費用合計	11,473	7,689
経常利益	557,464	642,562
特別損失		
固定資産除却損	0	18,850
特別損失合計	0	18,850
税引前四半期純利益	557,464	623,712
法人税等	171,935	192,103
四半期純利益	385,529	431,608

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	建築材料事業	不動産事業	合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
化粧板製品	3,168,012	—	3,168,012	—	3,168,012
電子部品業界向け製品	580,021	—	580,021	—	580,021
ケミカルアンカー製品	561,833	—	561,833	—	561,833
その他	35,959	—	35,959	—	35,959
顧客との契約から生じる 収益	4,345,827	—	4,345,827	—	4,345,827
その他の収益	—	301,943	301,943	—	301,943
外部顧客への売上高	4,345,827	301,943	4,647,770	—	4,647,770
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,345,827	301,943	4,647,770	—	4,647,770
セグメント利益	620,825	156,893	777,718	△274,795	502,923

(注) 1. セグメント利益の調整額△274,795千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自2025年4月1日 至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	建築材料事業	不動産事業	合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
化粧板製品	3,136,239	—	3,136,239	—	3,136,239
電子部品業界向け製品	656,702	—	656,702	—	656,702
ケミカルアンカー製品	547,960	—	547,960	—	547,960
その他	36,730	—	36,730	—	36,730
顧客との契約から生じる 収益	4,377,632	—	4,377,632	—	4,377,632
その他の収益	—	299,388	299,388	—	299,388
外部顧客への売上高	4,377,632	299,388	4,677,021	—	4,677,021
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,377,632	299,388	4,677,021	—	4,677,021
セグメント利益	665,400	160,064	825,465	△273,714	551,751

(注) 1. セグメント利益の調整額△273,714千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次の通りであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	203,077千円	189,918千円